製品安全データシート

制定：　2026年10月15日

1.製品及び会社情報

風呂用洗剤バスアタック

会社：ウエルシー製薬株式会社
住所：〒658-0047
兵庫県神戸市東灘期御影3-2-11-11
TEL：078-843-1212
FAX：078-336-3606

2.危険有害性の要約

分類の名称	：	該当しない。
危険性	：	該当しない。
有害性	：	眼、皮膚などを刺激する。

3.組成および成分情報

単一製品・混合物の区分	：	界面活性剤を含有する混合物
品名	：	浴室用合成洗剤
用途	：	浴そう、浴室の床・壁、洗面器、腰かけなどの汚れ落としおよび除菌
成分及び含有量	：	界面活性剤 、金属イオン封鎖剤

4.応急措置

目に入った場合	：	水で 15 分以上注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。目の刺激が続く場合は医師の診察/手当を受けること。
皮膚に付着した場合	：	多量の水で十分に洗い流す。異常が残る場合は医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	：	吐かせずにすぐに口をすすぎ、水を飲ませるなどの処置をすること。気分が悪い時は、医師の診察/手当を受けること。

5.火災時の措置

消火剤	：	粉末消火薬剤、水溶性液体用消火薬剤、大量の水、二酸化炭素、乾燥砂
使ってはならない消火剤	：	情報無し
特有の危険有害性	：	情報無し
特有の消火方法	：	火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火すること。消火作業は可能な限り風上から行うこと。この製品自体は燃焼しない。
消火を行う者の保護	：	消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用すること。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項	：	回収作業時は、必ず保護具（手袋、眼鏡）を着用すること。
保護具及び緊急時措置	：	多量の場合、人を安全な場所に避難させること。必要に応じて換気を確保すること。
環境に対する注意事項	：	環境への放出を避けること。

除去方法　　：　少量の場合、吸着剤（土、砂、ウエス等）で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取ること。多量の場合、周囲への流出を防止し、安全な場所に導いてから処理すること。
二次災害の防止策　：　情報無し

7.取扱い及び保管上の注意

用途以外には使わない。
子供の手の届くところに置かない。
認知症の方などの誤飲を防ぐため、置き場所に注意する。
荒れ性の方や長時間使用する場合は炊事用手袋を使う。
使用後は手をよく洗い、クリームなどでお手入れをする。

8.ばく露防止及び保護措置

設備対策　：　取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置すること。適切な排気換気装置を使用すること。
管理濃度　：　設定されていない
許容濃度　：　設定されていない
保護具　：　炊事用手袋、保護眼鏡、保護面
適切な衛生対策　：　情報無し

9.物理的及び化学的性質

外観（物理的状態、色など）　：　無色～淡黄色液体
臭い　：　オレンジミントの香り
pH（25℃，原液）　：　10.3～11.2
比重（25℃）　：　1.01
溶解度　：　水に溶解

10.安定性及び反応性

化学的安定性　：　通常の使用では安定
危険有害反応可能性　：　情報無し
避けるべき条件　：　情報無し
混触危険物質　：　情報無し
危険有害な分解生成物　：　情報無し

11.有害性情報

情報無し

12.環境影響情報

生態毒性　：　情報無し
残留性・分解性　：　情報無し
生態蓄積性　：　情報無し
土壌中の移動性　：　情報無し
他の有害性　：　情報無し

13.廃棄上の注意

「7.取扱い及び保管上の注意」の章を参照。
内容物/容器は国際、国、都道府県、市町村の規則に則って廃棄すること

14.輸送上の注意

「6.漏出時の処置」及び「7.取扱い及び保管上の注意」の章を参照。
容器の破損、漏れがないことを確かめる。
荷崩れ防止を確実に行なう。

該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う。

国際法規制
　国連番号(UN No.)　：　該当なし
　国際分類(Class)　：　該当なし
国内規制
　陸上輸送　：　消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
　海上輸送　：　船舶安全法に定められている運送方法に従う。
　航空輸送　：　航空法に定められている運送方法に従う。

15.適用法令

家庭用品品質表示法　：　該当する
化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）　：　該当なし
労働安全衛生法　：　該当なし
毒物及び劇物取締法　：　該当なし
火薬類取締法　：　該当なし
高圧ガス保安法　：　該当なし
消防法　：　該当なし

16.その他の情報

問い合わせ先　：　「1.製品及び会社情報」の章を参照。

ここに記載された情報は当社の最善の知見に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。すべての化学品には、未知の有害性がありうるため、取り扱いには細心の注意が必要です。本品の適正な使用については使用者の責任において行なって下さい。